

2020年3月23日

厚生労働省社会・援護局
障害保健福祉部障害福祉課
障害児・発達障害者支援室長

本 後 健 殿

一般社団法人 全国児童発達支援協議会
会 長 加 藤 正 仁

新型コロナウイルス関連 緊急調査(その2)の速報の情報提供

日ごろから一般社団法人全国児童発達支援協議会(CDS-Japan)の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先般情報提供をさせていただいた新型コロナウイルス関連 緊急調査(その1)に続き実施しております、第二弾緊急調査の速報値がでましたので、情報提供いたします。

全国一斉の臨時休校期間が2週間を超え、子どもたちの生活リズムや情緒面への影響、事業所職員の疲弊が示唆される状況が見受けられます。ご参照ください。

なお、最終集約は3月25日(水)を予定しております。また、引き続き緊急調査(その3)を継続してまいりますので、必要に応じて情報提供させて頂く予定です。

調査の概要

実施時期:2020年3月15日(日)から2020年3月25日(水)

調査内容:①②③ 子ども/保護者/職員の状況に関して

④⑤ 学校/行政における対応及び動きに関して

実施方法:WEBによるアンケート調査、CDS-Japan加盟事業所への郵送での案内とHPでの告知

アンケート回収数:115件

明らかになった現場での課題

<児童発達支援・放課後等デイサービス共通>

1. 子どもたちの落ち着きのなさやイライラ、生活リズムの乱れが顕著に表れてきている。
2. 今回の緊急的対応により、事業所スタッフの体調不良が目立ってきており、放課後デイ68% 児童発達支援75%で「ストレスがないとは言えない」状態となっている。
3. 子どもたちにとっては進学進級の重要な時期にも関わらず、休校により学校との連携が取れていない状況にある。(放課後デイ48% 児童発達支援52.5%)

今後とも、CDS-Japanとしては、現場の声として、リアルタイムに情報提供していきますので、厚生労働省においては子どもや家族が安全・安心して発達支援等が受けられるよう、今後とも連携・協議を重ねる機会を持っていただくようお願いします。

以上